



## 第109回(平成27年5月13日)定例会の研究発表要旨

### 「港の先人たち」

前田 山本博氏



本道開拓のため命を賭けて活躍した「港の先人たち」が築き上げたものを、要約して紹介しました。

#### \*場所請負人

徳川時代の前期後半、世の中が治まってくる頃から、商品、貨幣経済が発展し、交通の便がよくなるのと相俟って、蝦夷地にも交易を求めて商人が進出してきた。知行主達は、商人から購入した酒、米、古着、漆器などを場所（海岸線に分配した

区域）に運び、蝦夷地の生産品である魚、乾物、鷹などと交換する交易による収益で自らの生活を維持していたのである。しかし、次第に商人から一定の運上金を取って委託する方が得策とあって、商人達に委託するようになった。

この時代、「場所請負人」による本道漁業に及ぼした貢献は大きい。彼等は、自らの大資本により多くの漁場を開発し拡張し、販売市場の拡大を図る等、本道漁業の基盤を築いたのである。場所請負人として自ら築造した船入間、船揚場、船溜など各地での漁場開発の基盤となる。本道漁港建設の先人として功績のあった飛騨屋久兵衛、藤野喜兵衛、村山伝兵衛、伊達林右衛門などがあげられる。

\*江差で二百余年間にわたり、松前藩随一の豪商として江差経済を支配した関川与左衛門は私財を投じ弁天島に今の灯台に当たる竿燈を設置し管理・運営にあたる。さらに明治に入ってから私財を投じ、新聞縦覧場、小学校、公共病院、市街地道路改良等その功績は枚挙に暇がない。

\*室蘭港が天然の良港であることを、世界中で紹介したイギリス探検船プロビデンス号船長ウィリアム・ブロートンの功績を紹介。

\*高田屋嘉兵衛が箱館港を拠点に、択捉航路や漁場の開発、江戸と蝦夷地間交易での活躍。

\*根室港根室地区に柳田藤吉や藤野喜兵衛など数名が倉庫、荷物積のための「埋め立て地築造事業」に私財を投入し着手、明治33年に2万6千平方メートルを造成し根室港発展の礎となったことを紹介。

\*釧路港発展に功績のあった安田善次郎。

\*留萌港発展に功績のあった五十嵐綱治、五十嵐億太郎父子の偉業を紹介。

\*岩内町の経済発展や港の築造運動に奔走した橋本清吉を紹介。

\*網走港建設のため中央政府機関に認めさせ拍車を掛けた貴田国年を紹介。

\*紋別港実現のため私費で修築運動に奔走した、飯田嘉吉、岩倉梅吉、池沢亮を紹介。

# 『星置の歴史を歩く～特に星置川を中心に～』

星置 村元 健治 氏



星置の歴史について、特に星置川の自然と人々の関わりについて報告することにした。

まずは星置川に関わる自然から見ることにしたい。

星置川の本流と支流にある滝をそれぞれ見ると、本流にある星置の滝は 2 段滝で男性的なのに対して支流の滝ノ沢川にある「乙女の滝」は、乙女の長い髪が扇のように開いた形で、たおやかで女性的だ。この乙女の滝に行く途中に、手稲鉾山の閉ざされた廃坑とか、抗夫達の住居の土台等が見られる。

次に星置の扇状地についてだが、この扇状地は手稲山から運ばれてきた土砂が長い年月、堆積してできたもので、その頂点・扇頂は星置の滝の所で、その末端は函館本線の崖の所までだ。注目されるのは、広い扇状地の上を星置川がかつて自由に流れていたことと扇状地の先・扇端がかつて相当北側に、長く伸びていたことだ。

星置川の流れは今こそ西側となっているが、過去には一時的かもしれないが、もっと東側にも流れていたこともあったようだ。その痕跡らしいものを見つけた。扇状地の先については、国道 337 号辺りまで伸びていたのではないかと思われる。それが今から 6000 年前のピークを迎えた「縄文海進」によって波によって現在の線路の下まで削り取られたとみられる。ここは現在、高さ 20～30m ほどの崖となっているが、このようにかつてこの地は海水に覆われていたのだ。その証拠を先日、「星ヶ丘団地」西側の地表 3m 掘り起こした現場の海砂を見て確かめることができた。

次に星置川にまつわる人々との関わりについてみることにしたい。

幕末あたりから明治にかけて、星置橋上流の所に荷物を馬の背に付けて運ぶ「ダンコンマ」の人々や馬車の御者、並びに旅人などが宿泊した「馬宿」があった。星置が小樽と札幌の丁度、中間地点であったことと、「星置越え」(崖)と呼ばれる難所があったことなどにより設置されたようだ。

この馬宿があった辺りに、安政 4 年に、琴似屯田兵に先立つ幕府の武士等が入植した「在住制度」というものがあった。これは当時、深刻化してきたロシアからの南下政策に対処するため行われたものの一つ。明治維新の際の混乱等もあって、最終的に星置に定住はしなかったものの、星置を開いた最初の人達ともいえよう。

星置川の河口は、アイヌ語でオタルナイ川と呼ばれるが、ここには 18 世紀頃に松前藩のオタルナイ場所があり、運上屋もあったようだ。それが後に、小樽市のクツタルウシ(入舟町)に移るが、このオタルナイはその後、小樽の地名の発祥の地となった。

在住者が星置に入植した年、銭函から千歳までの刈分道だったが、「サッポロ越え(千歳越え)道路」が作られた。幕府が場所請負人に作らせたものだった。獣道を利用した踏分道で、その後開拓使は明治 5 年、この道を改修した。その時大変だったのは、星置越え(崖・坂)で、長州、薩摩の人夫を使って、刈分道の掘り下げ等が行われた。

以上のように、星置は星置川を中心に古くから、人が住んでいた形跡があり、札幌の中でも最も歴史のあるところだといえそうだ。

## 次回の子定

次回(7月8日)は、井塚重男氏の「残響」および梶本孝氏の「ご当地検定と観光ボランティア」の研究発表を予定しております。

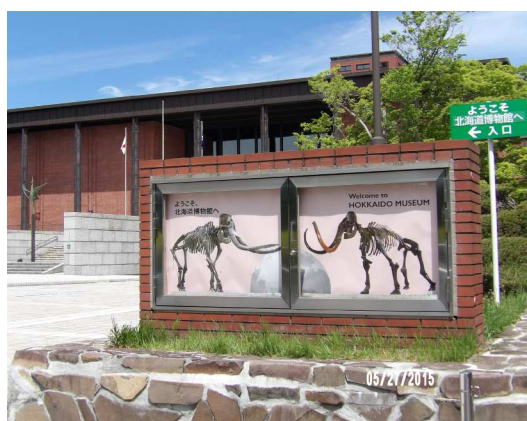
# 分科会報

## ★ 開拓史研究部・文芸サークル

5月27日は開拓史研究部の企画で、前身の北海道開拓記念館を大幅改装して4月18日にオープンした「北海道博物館」研修会を開催しました。石狩郷土史研究部の皆さんも参加し、総勢17名が11時に集合し入館しました。見学に先立ち、東学芸員に講堂にて展示物の概要説明をいただきました。

地図の上に立つ、マンモス、ナウマンゾウを眺めながら、展示会場に入り実物大のナンマンゾウの牙のレプリカの前で記念撮影をして、いざ見学…。

一緒にスタートしましたが、それぞれの興味・関心は異なりそれぞれ見学順路はバラバラになったようです。中には遊戯感覚で楽しく学習できるように工夫されたところもあり、そこでは童心に返って夢中で遊んでおりました。皆さん、時間を忘れて展示物に見入ってしまい、空腹で時刻を意識したというところがあります。その後、希望者は「開拓の村」を見学して3時30分のバスで帰ってきました。



## ★ 資料整理部

5月22日に今年度最初の部会をひらきました。当面、課題として考えられる業務を列举し、作業分担を行いました。ここで決まった係は、次の通りです。

- ・スクラップ資料の整理－アイヌ関連：後藤崇和
- ・図書目録作成－茂内蔵書：立花顕次
- ・図書目録作成－西尾蔵書：高木秀子
- ・スクラップ資料の整理－有島武雄：小田真二
- ・スクラップ資料の整理－手稲区関連資料：浜埜静子

この他にしなければならないことは山ほどあります。多くの方のご協力をお願いいたします。毎月、第4木曜日を作業日としました。是非、茂内宅にお集まりください。

## 6月の分科会カレンダー

分科会名	日 程	予 定
文芸サークル・開拓史研究部	6月24日	熊嵐（吉村昭）
手稲石の会	6月27日	鉱石・探しに行こう。参加者募集、
資料整理部	6月25日	各種資料整理

# 会員の広場

## 四季彩の街・テイネニュータウン町内会発足25周年

### 記念式典祝賀会〈出席報告〉

去る5月24日私ども郷土史研に出席案内を頂き、茂内が参加させてもらいました。貴町内会は、御存知の通り手稲区が西区から分区して間もなく誕生したニュータウンです。当日の様子をお伝えします。一口で申しますと、幼児からお年寄りまで一帯となって、この新しい町作りに浸りきっているかのような感想をもちました。この日頂戴した記念誌にもあるように《安全・安心で潤いのある町内会》そのものなのですね。

式典時で前田児童会館こどもクラブのみなさんのあどけなさや前田北中学校ブラスバンド部の皆さんたちの晴れがましい演奏風景、そして感謝状を首にするご老人たちの満足感を実に心地よく見せてもらいました。

このような盛大な催しを企画実施されました町内会(渡部孝次会長)並びに実行委員会の皆様に心からお礼申し上げたいです。

感謝の一端としまして、この紙面でちよっぴり「四季彩の街」の大地を歴史資料でたぐってみましょう。記念誌掲載「25年の歩み」にも記されていますが・・・

- この原野で札幌の一中生らが全校あげての「兎狩り」をした記録も見えます。
- 泥炭掘りの工場もあり、(三浦農場)ホクレンの歴史も貴重です。
- 当地域を取り囲む、新川 石狩道路 樽川通り(土功排水) 稲山通り それぞれの由来も残していきたいです。
- この町内に、幼稚園 小学校 中学校 大学と正に手稲区の文教施設勢揃いです。
- つい先日?までは、野火に悩んだ日々もありました。
- 今こうして札幌市の街作りモデルケースのように思われます。
- ※ ここに何の変てつもない一枚の写真、裏に昭和52年6月5日とあり、茂内のアルバムから発見。記憶をたどると、工大裏を正にワラビ取り、夕暮れ時に新川縁から現稲山連町あたりにレンズを向けたと思われまます。この立て板に何の文字が・・・もう境界か何かのコンクリート壁が一直線にあったようです。あれから・・・年でしょうか・

